

### 3年生 自転車教室



中学年になると、同じような興味関心をもつ友達と行動することが多くなります。友達と出かけるときに、自転車に乗る機会も多くなるようです。

クラス替えがあり新しい友達と出会った3年生は、安全な自転車の乗り方や正しい交通ルールとマナーを覚えるため、5月8日（金）に学年行事として自転車マナー教室を実施しました。この行事は交通安全教室の一環として行うもので、学級代表の保護者の方が中心となり、区の交通対策課や警察と連携を取りながら、多くの保護者の方の協力をいただくことで実現しました。

当日は、保護者の方や警察官が信号機や横断歩道を設置してくださり、体育館に街並みが生まれました。学年のワークスペースでは、子どもたちが区の交通指導員から自転車を点検することや、車道や歩道の正しい走り方を教わり、筆記試験に臨みました。

その後、クラスごとに体育館に移動して実技を行いました。後方を確認して乗車。路側帯があるときの走り方、横断歩道のわたり方、スラロームなど盛り沢山の内容でしたが、みんな合格しました。子ども達に聞くと、「横断歩道の渡り方が分かった。」「安全確認が大切だ。」「試験に合格してよかった。」などの感想があがりました。

自転車マナー教室に参加した子ども達には、自転車免許証が発行されました。自転車はとても便利な乗り物です。これからは学習した内容を生かして、安全に楽しく乗車してほしいです。

（3年担任 岡崎 昌之）



### 4年生 ごみ清掃車出前授業

毎日生活していると、必ず出るのが「ごみ」。学校でも掃除の時間にたくさんのごみが出ます。ごみは、その後どうなるのだろうか？4年生は社会科の学習として、日頃の日常生活から湧き上がった疑問を調べる学習を始めました。

集積所を見学し、ごみは分別して決まった曜日に出すこと。収集車が集めて焼却したり、破碎したりした後に埋め立てること。リサイクルする物品もあることなどについて学習したまとめとして、5月9日（土）に足立清掃事務所の方を招いて「ごみ清掃車出前授業」を行いました。

めったに見られないボディー部分がスケルトンの収集車に子どもたちのテンションは否が応でも上がりました。軍手をはめて、ごみのつめこみ体験をしたり、ごみが集められてから最終処理されるまでの講義を聞いたりして、学んだ内容をさらに深めることができました。

東京湾にある埋立地は、10年前には「あと30年しかもたない。」と言われていたそうですが、10年経った現在では「50年後まで使用できる。」そうです。「ごみ」に対する1人1人の意識が高まった結果だそうです。子どもたちは3Rについても学び、特に必要でない物は買わないことの大切さに気付きました。当日は、多くの保護者の方も参観されており、清掃事務所の方のお話に興味深く聞き入っていました。

ごみの減量は待ったなし。4年生に負けないように私も削減に努めようと改めて思いました。

（4年担任 伊澤 正行）